

## 大町市ゼロカーボンシティ宣言

－ 2050年脱炭素社会を目指して－

近年、地球温暖化が起因とされる異常気象や自然災害が世界各地で頻発し、国内においても、猛威を振るう大型台風や局地的な集中豪雨などにより、未曾有の大災害が発生し、甚大な被害をもたらしています。

また、二酸化炭素などの温室効果ガスによる温暖化は、水資源や生態系、幅広い産業活動に深刻な影響を及ぼしており、人類の生存や人間社会存続への重大な脅威として危機感を共有し、最小限に抑える対策への真剣な取組みが人類共通の喫緊の課題となっています。

市では、大町市環境方針を2002年(平成14年)に制定し、行政分野での省エネ、省資源化に着手する一方、2020年(令和2年)には、SDGs未来都市の選定を受け、気候変動とその影響を軽減するための開発目標(SDGs)に根差した取組みも始まっています。また2022年(令和4年)には、大町市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、新たに二酸化炭素排出量実質ゼロの目標を掲げています。

今後、いっそう急速に進行する地球規模の気候変動に対し、対策の更なる進化には、協働の理念のもと、行政・市民・事業者が一体となった全市的な取組みの強化とともに、小水力や木質バイオマスなど地域特性を活かした再生可能な自然エネルギーの普及と、循環型社会を目指すリサイクルなど省資源、省エネの推進が不可欠です。

大町市には、先人が守り残した豊かな水資源や森林資源など、再生可能な自然エネルギーの創出に寄与する自然があふれています。将来にわたり、秀麗な北アルプスの麓に位置する大町市の美しく豊かな自然環境と良好な生活環境の保全を実現し、未来を託す世代に持続可能な地域を引き継ぐため、脱炭素社会の構築に向けた二酸化炭素の排出量削減に取り組み、2050年までにゼロカーボンシティを目指すことをここに宣言します。

2022年3月24日

大町市長

牛越 徹